

※工作物の新築工事の場合の記入例

建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等（土木工事等）

分別解体等の計画等

工作物の構造 (解体工事のみ)		□鉄筋コンクリート造 □その他 ()		
工事の種類		☒ 新築工事 □維持・修繕工事 □解体工事 ☐ 電気 ☐ 水道 ☐ ガス ☐ 下水道 ☐ 鉄道 ☐ 電話 ☒ その他(外構工事) ()		
使用する特定建設資材の種類 (新築・維持・修繕工事のみ)		☒ コンクリート ☒ コンクリート及び鉄から成る建設資材 ☒ アスファルト・コンクリート ☒ 木材		
工作物に関する調査の結果	工作物の状況	築年数 年 その他 ()		
	周辺状況	周辺にある施設 ☒ 住宅 □商業施設 ☒ 学校 ☒ 病院 □その他 () 敷地境界との最短距離 約 2m その他(道路の幅員は問題なし) ()		
工作物に関する調査の結果及び工事着手前に実施する措置の内容	工作物に関する調査の結果		工事着手前に実施する措置の内容	
	作業場所			
	搬出経路			
	特定建設資材への付着物(解体・維持・修繕工事のみ)			
	他法令関係(解体・維持・修繕工事のみ)	石綿(大気汚染防止法・安全衛生法石綿則)		
	その他			
工程ごとの作業内容及び解体方法	工 程		分別解体等の方法 (解体工事のみ)	
	①仮設		☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用	
	②土工		☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用	
	③基礎		☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用	
	④本体構造		☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用	
	⑤本体付属品		☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用	
	⑥その他 (アスファルト舗装)		☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用	
工事の工程の順序 (解体工事のみ)		☐ 上の工程における⑤→④→③の順序 ☐ その他 () その他の場合の理由 ()		
工作物に用いられた建設資材の量の見込み(解体工事のみ)		トン		
廃棄物発生見込量	特定建設資材廃棄物の種類ごとの量の見込み(全工事)並びに特定建設資材が使用される工作物の部分(新築・維持・修繕工事のみ)及び特定建設資材廃棄物の発生が見込まれる工作物の部分(維持・修繕・解体工事のみ)	種 類	量の見込み	使用する部分又は発生が見込まれる部分(注)
		☒ コンクリート塊	1 トン	☐ ① ☐ ② ☒ ③ ☒ ④ ☐ ⑤ ☐ ⑥
		☒ アスファルト・コンクリート塊	1 トン	☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤ ☒ ⑥
		☒ 建設発生木材	0.1 トン	☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☒ ⑤ ☐ ⑥
(注) ①仮設 ②土工 ③基礎 ④本体構造 ⑤本体付属品 ⑥その他				
備考				

□欄には、該当個所に「レ」を付すこと。